

科名 外科 外科72(a)

対象疾患名 HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発胃がん

プロトコール名 CDDP+ゼローダ(XP)+トラスツズマブ(初回)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	...	22
1	点滴注	メイン	生食	1000mL	22:00~10:00	↓							
			5%ブドウ糖	1000mL	アリメバッグで								
			KCLキット	10mL									
2	点滴注	メイン	生食	1000mL	10:00~22:00	↓							
			5%ブドウ糖	1000mL	アリメバッグで								
			KCLキット	10mL									
3	点滴注	側管1	トラスツズマブ	8mg/kg	90分かけて	↓							
			注射用水	7.2mL	10:00~11:30								
			生食	250mL									
4	点滴注	側管2	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	↓							
			デキサート	9.9mg	11:30~12:00								
5	点滴注	側管3-①	シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	2時間かけて	↓							
			生食	500mL	12:00~14:00								
6	点滴注	側管3-②	マンニトールS	300mL	6時間かけて	↓							
					12:00~18:00								
7	点滴注	メイン	生食	1000mL	22:00~10:00	↓							
			5%ブドウ糖	1000mL	アリメバッグで								
			KCLキット	10mL									
8	点滴注	メイン	生食	1000mL	10:00~22:00		↓	↓	↓				
			5%ブドウ糖	1000mL	アリメバッグで								
			KCLキット	10mL									
9	点滴注	側管	デキサート	6.6mg	30分かけて			↓	↓	↓			
			生食	50mL	10:00~10:30								
	内服	ゼローダ	1回1000mg/m <sup>2</sup> を1日2回	d2朝食後~d15夕食後投与、d16朝食後~d22は休薬									

★1クール=22日(day1はハイドレーション)

~MEMO~

催吐レベル4(90%以上)

イメドカプセルを内服する。day2は11:00に125mgを1カプセル、day3,4は午前中に80mgを1カプセル

<トラスツズマブ>

初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg。初回90分で忍容性があれば2回目以降30分。ただし、初回にインフュージョンリアクションがあれば2回目60分。以降忍容性あれば30分。

禁忌: アンスラサイクリン系との併用(心毒性の増強)

初回投与の40%にインフュージョンリアクションが認められる。投与開始後2時間は慎重に観察

三か月毎に心エコーで心機能を評価

最終投与から6週以上経過した場合は初回投与量(8mg/kg)より再開する。

<ゼローダ>

ゼローダは14日間内服7日間休薬

ゼローダ1日2回内服、1回の投与量

体表面積(BSA) < 1.36m<sup>2</sup>は1200mg/回 (4 Tab)

1.36m<sup>2</sup> ≤ BSA < 1.66m<sup>2</sup>は1500mg/回 (5 Tab)

1.66m<sup>2</sup> ≤ BSA < 1.96m<sup>2</sup>は1800mg/回 (6 Tab)

BSA ≥ 1.96m<sup>2</sup>は2100mg/回 (7 Tab)